

# 農業委員会委員の 任命12件に同意

農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日に施行されました。この改正により、農業委員会委員の選任方法が公職選挙法に基づくものから、町長が議会の同意を経て任命する方法に変わりました。

また、平成28年第4回定例会で可決された「多古町農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例」により、定数が12名と定められました。

このことから、平成29年7月に任期満了となる農業委員会委員について、12名の任命に同意しました。



農地に関する事務の執行が主な仕事

## 農業委員会委員



大谷晴美氏・68歳  
喜多



大木茂秀氏・67歳  
寺作



宇井伸征氏・39歳  
島



飯田耕一氏・64歳  
南並木



櫻井清二氏・60歳  
大門



齊藤直行氏・49歳  
東松崎



桐谷やよい氏・63歳  
北中



加瀬政美氏・61歳  
牛尾



行橋千春氏・55歳  
十余三



原孝氏・67歳  
川島



菅澤重夫氏・63歳  
高津原



椎名豊氏・63歳  
飯笹

# 圏央道(大栄・横芝間)の 早期完成等に関する決議を可決

6月13日、高坂恭子議員ほか4議員から「圏央道(大栄・横芝間)の早期完成等に関する決議」が提出され、賛成全員で可決しました。

決議書は議長が国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所長に提出します。

## 圏央道(大栄・横芝間)の 早期完成等に関する決議

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は、首都圏の広域的な幹線道路網を形成する首都圏3環状道路の一つであり、首都圏の道路交通の円滑化をはじめ、災害時等の緊急輸送路の確保や沿線の地域づくりの活性化等、国土強靱化と地方創生を実現していくうえで極めて重要な役割を担う高規格幹線道路として、一日も早い完成が望まれている。

こうした好循環を、県内はもとより、首都圏全域に広げ、より効果的なものとするためには、総延長約300kmが全線開通することが必要不可欠であり何より肝要である。

千葉県内においては、唯一の未開通区間となっている、大栄ジャンクション・松尾横芝インターチェンジ間(延長18・5km)の工事が、今年度から事業着手されることから、全線開通に向け、これまで以上に事業が加速されることを期待している。

そして、成田国際空港とその周辺地域の企業立地・市場拡大・生産活動等のポテンシャルを最大限に活かすため、県内

外からの成田空港利用者の利便性向上と、周辺地域や千葉県の発展に十分配慮の上、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて大栄・横芝間の開通目標を早期に明示され、他の区間に遅れることなく早期完成を目指すとともに、地域交流拠点との接続が可能となる休憩施設を、成田国際空港周辺に設置することを強く要望するものである。

以上、決議する。

平成29年6月13日

千葉県多古町議会



## 請願にかかる

# 意見書を可決

6月13日、採択した請願にかかる2件の意見書案が発議され、賛成全員で可決しました。可決した意見書の要旨は次のとおりで、それぞれ議長名で関係機関へ提出しました。

### 発議案第3号 義務教育費国庫負担制度 の堅持に関する意見書

国はすべての子どもたちに等しく教育を受ける機会を確保する責務があることから、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準向上のため義務教育費国庫負担制度の堅持を求める。

### 発議案第4号 国における平成30年度教育 予算の拡充に関する意見書

子どもたちの教育環境整備をすすめるため、次の事項を中心とした国の予算拡充を求める。

- 1 震災からの教育復興予算拡充
- 2 少人数学級実現のための教職員定数改善
- 3 義務教育教科書無償制度の堅持
- 4 就学援助や奨学金事業の予算拡充
- 5 総合型地域クラブの育成等
- 6 公立学校施設整備費の充実
- 7 安全と充実した学習環境を保障するための地方交付税交付金の増額



充実した教育には施設整備が必要